

# 紙とプラスチック業界の融合による 新たなビジネス創出に向けた勉強会 in 四国中央市

昨今、海洋プラスチックごみ問題等の影響を受け、プラスチック代替・削減素材が注目されています。今回は、紙産業やフィルム等のプラスチック加工業の集積地である四国において新たなビジネスチャンスを創出すべく、紙や生分解性プラスチック等の素材、施策等に関する最新の情報提供を行う勉強会と、紙業界とプラスチック業界の交流を目的とした情報交換会を開催いたします。

- 【日 時】 令和2年3月2日(月) 13:30~17:20 (第1部)  
17:30~19:00 (第2部)
- 【場 所】 ホテルグランフォーレ (愛媛県四国中央市三島朝日1丁目1-30)
- 【定 員】 50名 (先着順。各社2名までとさせていただきます。)
- 【参加費】 無料 (情報交換会 会費: 3,000円)
- 【申込締切】 令和2年2月25日(火) ※申込み方法は裏面をご覧ください。

## 【プログラム】

### ◆第1部 勉強会(事例紹介・情報提供) 会場:「ポータルスター」

#### ・「循環型社会実現に向けた包装の新潮流:脱プラ・リサイクル・紙化の行方は?」

有田技術士事務所 (技術士・包装管理士) 有田俊雄氏

脱石油・循環型社会へ世界的気運が高まっている。狙いは「資源の有効活用とごみゼロ社会」の実現にある。包装材料、包装技術、リサイクルも大きな転換期にあり、プラスチック、紙の包装設計への新たなイノベーションが求められている。

#### ・「クリーン・オーシャン」の実現に向けた今後の企業の取組み方とは・・・?

北村化学産業(株)QOL事業部 マーケティング課 田中瑞紀氏

日本製紙(株)情報・産業用紙営業部 シールドプラス事業推進室 内村元一氏

地球規模の新たな課題である海洋プラスチックごみ問題が今、パッケージ業界を大きく揺るがしている。

日本においても2019年1月にCLOMAが設立され、課題解決に向けた様々な取組の推進が始まっている。

持続可能な社会の実現に向け、我々企業は、どのような取組みを進めればいいのか・・・?



シールドプラス  
(日本製紙(株))



耐熱発泡バリアトレー  
(北村化学産業(株))

#### ・「カネカ生分解性ポリマー PHBHの開発」

(株)カネカ Green Planet 推進部 Green Planet 計画(日本) 推進グループ  
企画チームリーダー 福田竜司氏

世界で初めて100%植物由来で、軟質性、耐熱性を持つ生分解性ポリマー。マイクロプラスチック問題を解決し、持続可能な社会のために、今後必要な素材として大きく期待されている。

#### ・最新の関連施策動向 四国経済産業局

#### ・関連機関紹介 (愛媛県紙産業技術センター・高知県立紙産業技術センター・紙の総合マッチングサイト「四国は紙国」)

### ◆第2部 情報交換会 会場:「天空」

# 紙とプラスチック業界の融合による 新たなビジネス創出に向けた勉強会 in 四国中央市 参加申込書

必要事項をご記入のうえ、FAX 又は電子メールにてご送付ください。申込期限：2月25日(火)

■お問い合わせ・申込み先

〒760-0033 香川県高松市丸の内2番5号

一般財団法人四国産業・技術振興センター 産業振興部 村山

TEL：087-851-7082 FAX：087-851-7027 E-mail：[murayama@tri-step.or.jp](mailto:murayama@tri-step.or.jp)

貴社・団体名			
住 所			
項目	所 属 ・ 役 職	氏 名	情報交換会
参加者 1			<input type="checkbox"/> 出 <input type="checkbox"/> 欠
E-mail/電話	/		
参加者 2			<input type="checkbox"/> 出 <input type="checkbox"/> 欠
E-mail/電話	/		

申込時に記載いただく個人情報につきましては、本セミナーの実施・運営以外の目的に使用することはありません。

(備考) 参加票等は発行いたしませんので、事務局から特段の連絡がない場合はそのままご来場ください。

<ご参考> ホテルグランフォーレまでの地図

